

今年度の成果2：ケース動画を活用した教材作成

ケース動画を活用した講義計画（案）

- 本資料は、ケース動画を教材として活用することを想定した際の講義計画（案）である。講義計画は以下の内容によって構成されている。
 - 「講義タイトル」…タイトル
 - 「講義の目的」…本講義で学んでほしい内容について示したもの
 - 「講義の流れ」…どのような方法（講義、ディスカッション、ケース動画 等）、どのような流れで学んでもらうかを示したもの
 - 「活用動画（案）」…活用が想定されるインタビュー対象者
 - 現在、本講義計画をベースとして、実際に講義を行うことを想定し、パワーポイントファイルを作成中。
- ※講義計画の作成は、中核人材育成において必要なプログラム分野（プログラム A～C、プログラム 1～4）との対応についても考慮し、各プログラムにおいて最低 1 講義、合計 15 講義の計画を作成した。

<プログラム A（構想実現分野）教材（案）>

講義タイトル	観光地域づくり序論
講義の目的	講義ではまず、ケース動画の「なぜ観光地域づくりに取り組むようになったか」という部分を活用し、自分の地域とケース動画で取り上げられている地域が抱える共通の課題などを通じて、観光地域づくりが課題解決の手段として期待できるものと認識した上で、観光地域づくりへの「関心」と観光と「地域」の関係についての理解を促す。
講義の流れ	<ul style="list-style-type: none"> ○「なぜ観光地域づくりなのか？」という受講生への問いかけ ○意見の整理・解説 ○地域が抱える課題と観光地域づくりによる課題解決（動画視聴） ○観光と地域の関係（動画） ○まとめ
活用動画（例）	収録対象者全員

<プログラム B (構想実現分野) 教材 (案) >

講義タイトル	観光のマネジメント
講義の目的	観光地の運営は観光資源に依る部分が大きく、この特性を踏まえると戦略的な運営が必要となる。こうした背景を踏まえ、本講義では、観光地マネジメントにおける戦略のプロセス、目的と手段の関係、それに基づいた組織における意思決定の重要性について学ぶことを目的とする。
講義の流れ	<ul style="list-style-type: none"> ○導入 ○戦略的な観光のマネジメントについての概要説明 ○動画視聴+観光マネジメントの目的についての解説 ○動画視聴+観光マネジメントの手段についての解説 ○手段と目的の関係と重要性を踏まえた観光地マネジメントについての解説
活用動画 (例)	畦地/吉川

講義タイトル	リーダーへの旅
講義の目的	本講義では、リーダーとなる過程において必要な気づき等を村上市の吉川氏の事例をもとに講義を行う。講義の冒頭に受講生が各自で抱くリーダー像への問いかけ、まちのあるべき姿への「気づき」、住民との協働、リーダーとしての心構え、リーダーに必要な資質等を学ぶことを目的とする。
講義の流れ	<ul style="list-style-type: none"> ○村上市の概要説明 ○吉川氏の経歴紹介 ○リーダー像の喚起「内なる声」(動画) ○「自分のみに見えている方向性」(動画) ○地域住民との協働 (動画) ○必要な心構え (動画) ○必要な資質 ○リーダーとよばれる時期 (動画) ○コッターのリーダーシップ ○まとめ (動画)
活用動画 (例)	吉川

<プログラムC（構想実現分野）教材（案）>

講義タイトル	コミュニティに変化を起こすリーダーシップ
講義の目的	観光まちづくりに代表されるソーシャルビジネスをコミュニティに変化を起こす「技術」として位置づけ、そのロジックと組み立て方について学ぶことを目的とする。
講義の流れ	<ul style="list-style-type: none"> ○現状認識と問題意識活動の目的と目標設定 ○組織づくり ○コミュニティの俯瞰 ○活動プロセス ○活用したリソースとその方法
活用動画（例）	鶴田／井手

講義タイトル	観光地域づくりにおける多様なリーダーシップのあり方
講義の目的	桑野氏（由布院温泉）、吉川氏（村上市）、榊田氏（境港市）らのケース動画から観光地域づくりにおける多様なリーダーシップのあり方を学ぶ。多様なリーダーシップの例として講義では民主型のリーダーシップ、専制型のリーダーシップを紹介した後、観光地タイプに適したリーダーシップの類型等を紹介する。
講義の流れ	<ul style="list-style-type: none"> ○地域づくりにおけるリーダーシップの紹介 ○桑野氏の経歴紹介→由布院の人材育成（動画）→桑野氏のリーダーシップ（動画） ○民主型のリーダーシップ ○榊田氏の経歴紹介→榊田氏のリーダーシップ（動画） ○吉川氏の経歴紹介→吉川氏のリーダーシップ（動画） ○専制型のリーダーシップ ○各類型の整理 ○観光地タイプ別のリーダーシップ類型整理
活用動画（例）	桑野／榊田／吉川

<プログラム1（業務遂行分野）教材（案）>

講義タイトル	多様な主体との協働型観光地域づくり
講義の目的	観光地域づくりにおいては、行政をはじめとした団体や地域住民を活動に「巻き込む」ことが必要となる。本講義では、地域住民（渋川氏、吉川氏）、行政（江崎氏）、民間事業者（佐藤氏）を例に多様な主体の巻き込み方の手法について学ぶ。
講義の流れ	<ul style="list-style-type: none"> ○観光地域づくりはなぜ多様な主体の協力が必要なのか？ ○誰を巻き込めばよいのか？ ○どんな巻き込み方があるのか？ ○地域住民を巻き込む場合（動画）→解説 ○行政を巻き込む場合（動画）→解説 ○民間事業者を巻き込む場合（動画）→解説 ○まとめ
活用動画（例）	渋川／江崎／佐藤

講義タイトル	ITを活用したプロモーション
講義の目的	観光客が欲しい情報と観光地が発信している情報とのミスマッチについて認識し、それを解決するための手法について小樽市の小川原氏の取り組みを例に学ぶことを目的とする。
講義の流れ	<ul style="list-style-type: none"> ○観光地の情報発信の概要 ○情報発信に起きる課題（情報提供のミスマッチ） ○ワークショップ（観光客と地域の2グループに分かれ、観光客グループは自分が観光する際に欲しい情報について、地域グループは地域で発信したい情報についての議論） ○小川原氏の経歴紹介 ○小樽観光の紹介 ○小樽の取り組み（動画） ○まとめ
活用動画（例）	小川原

<プログラム2（業務遂行分野）教材（案）>

講義タイトル	地域を知ること
講義の目的	地域を構成する自然や歴史、生活文化といった事項を総合的に把握し、観光資源となりうる地域の個性を明らかにする方法を学ぶ。
講義の流れ	<ul style="list-style-type: none"> ○「地域を知ること」とその目的 ○地域調査の手法（文献調査、聞き取り調査、実地調査等） ○具体的事例（動画） ○まとめ
活用動画（例）	大西／福島／坂元

講義タイトル	地域の「考え方」を伝える特産品開発
講義の目的	商品開発とは、ただものをつくることではない。商品が地域の産物、産業、生活、人情、風景を載せて世の中を循環することで、地域のイメージが伝えられる。こうした考え方に基づく商品開発の実際について、事例を交えながら学ぶ。
講義の流れ	<ul style="list-style-type: none"> ○なぜ商品開発に取り組むのか ○商品開発の事例（動画） ○商品開発の出発点 ○商品開発の進め方 ○まとめ
活用動画（例）	畦地／福原／福島／島

講義タイトル	着地型旅行商品
講義の目的	着地型旅行商品の全体像を把握し、地域で着地型旅行商品を売り出していく上で必要な資源発掘、商品造成、流通・販売、マーケティングについての考え方、手法、フローについて理解することを目的とする。
講義の流れ	<ul style="list-style-type: none"> ○着地型旅行商品についての概要 ○着地型観光の具体的事例をパターン分け（体験交流型/ニューツーリズム型/観光地再生型等）して紹介 ○資源発掘（動画）→解説 ○商品造成（動画）→解説 ○マーケティング（動画）→解説 ○紹介
活用動画（例）	鶴田／河野／木村宏／高砂／江崎／福島／植田／木村聡／菊池／高橋／下津

<プログラム3（業務遂行分野）教材（案）>

講義タイトル	観光地・観光資源のブランド戦略
講義の目的	観光も経済活動である以上、ブランドを無視することはできない。特定の地域が高い価値を持つ観光地として認知されるようなブランドとしていくための手法について学ぶ。
講義の流れ	<ul style="list-style-type: none"> ○観光地に求められる戦略的思考とは ○観光地とメディア環境 ○地域ブランドの全体像 ○事例から見る観光地・観光資源のブランド化（動画） ○まとめ
活用動画（例）	畦地／福原／高砂／江崎／木村聡

講義タイトル	地域資源マネジメント
講義の目的	地域資源を観光地域づくりに活用する際の発掘（地域資源の捉え方、調査方法、整理手法）活用（商品づくりの手順、工夫）、保全（物理的収容力、施設収容力、生態的収容力、社会的収容力）の考え方とその手法について学ぶことを目的とする。
講義の流れ	<ul style="list-style-type: none"> ○地域資源マネジメントの概要 ○地域資源の観光地域づくりへの活用 ○発掘の考え方と手順（地域資源の捉え方、調査手法、整理手法）→動画 ○活用（商品づくりの手順とその際の工夫）→動画 ○保全（各収容力に配慮した上で地域資源を活用）→動画 ○まとめ
活用動画（例）	福原／高砂／江崎／木村聡

講義タイトル	観光地マーケティング
講義の目的	観光地域づくりとマーケティングという異なる分野における共通認識として、基本的な見方・捉え方を共有できることを目的とする。
講義の流れ	<ul style="list-style-type: none"> ○観光地マーケティングの必要性 ○観光地マーケティングの基本的枠組み ○観光地マーケティング戦略構築のポイント ○情報の収集と分析手法→（動画） ○まとめ
活用動画（例）	河野／小川原／江崎／木村聡

<プログラム4（業務遂行分野）教材（案）>

講義タイトル	中長期的な事業計画（修旅を例にして）
講義の目的	経営戦略手法について、そもそもの始まりから最後の実行にいたる流れの中に位置づけて役割を明らかにすることで、各段階でなされるべき事柄や手法を身につけることを目的とする。
講義の流れ	<ul style="list-style-type: none"> ○戦略とは何か ○組織が追求する使命・目的・任務の確認 ○組織の内外の状況、要因、要素の分析・把握 ○とりうる各種の戦略方法の検討と、取るべき方法の決定→ ○戦略の実行と、結果の検証 ○まとめ
活用動画（例）	高橋／下津

講義タイトル	活動に必要な資金（自主財源）の確保と活用
講義の目的	観光まちづくりに必要な資金を安定的に確保するための取り組み（自主財源の確保）について学ぶ。講義は「なぜ観光まちづくりに財源確保が必要か？」という問いかけからスタートし、自主財源を確保するための手法、自主財源の活用、安定的な組織、地域経営において自主財源が果たす役割などを学ぶ。
講義の流れ	<ul style="list-style-type: none"> ○なぜ観光まちづくりに財源確保が必要か？ ○自主財源を確保するための手法<特産品の例>（動画）→解説 ○<サービスの例>（動画）→解説 ○自主財源の活用方法 ○安定的な組織、地域経営において自主財源が果たす役割 ○まとめ
活用動画（例）	高砂／福島／島／坂元／佐藤